

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re PATENT APPLICATION of  
Inventor(s): SORAMOTO et al.

Appln. No.:	Unassigned
Series Code	Serial No.

Group Art Unit: Unassigned

Filed: April 4, 2001

Examiner: Unassigned

Title: COMPENSATION-GRANTING SYSTEM AND METHOD  
AND SERVER THEREOF

Atty. Dkt. P 280041	VN-0071US
M#	Client Ref

Date: April 4, 2001

**SUBMISSION OF PRIORITY  
DOCUMENT IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF RULE 55**

Hon. Asst Commissioner of Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:


Please accept the enclosed certified copy(ies) of the respective foreign application(s) listed below for which benefit under 35 U.S.C. 119/365 has been previously claimed in the subject application and if not is hereby claimed.

<u>Application No.</u>	<u>Country of Origin</u>	<u>Filed</u>
2000-306733	JAPAN	October 5, 2000

Respectfully submitted,

Pillsbury Winthrop LLP  
Intellectual Property Group

1100 New York Avenue, NW  
Ninth Floor  
Washington, DC 20005-3918  
Tel: (202) 861-3000  
Atty/Sec: gjp/mjb

By Atty: <u>Glenn J. Perry</u>	Reg. No. <u>28458</u>
Sig: <u></u>	Fax: (202) 822-0944
	Tel: (202) 861-3070

#2/Priority  
8-22-01  
K. Powell  
JC918 U.S. PTO  
09/824877  
04/04/01

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

JC918 U.S. PTO  
09/824877  
04/04/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年10月 5日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-306733

願 人  
Applicant(s):

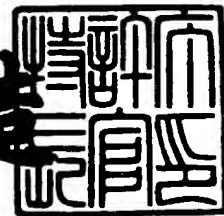
三井海上火災保険株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月 9日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3017138

【書類名】 特許願

【整理番号】 VN-0071

【提出日】 平成12年10月 5日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

G06F 17/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 9 番地 三井海上火災  
保険株式会社内

【氏名】 空本 敬文

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 9 番地 三井海上火災  
保険株式会社内

【氏名】 澤 幸宏

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 9 番地 三井海上火災  
保険株式会社内

【氏名】 三村 泰平

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 9 番地 三井海上火災  
保険株式会社内

【氏名】 小西 理

【特許出願人】

【識別番号】 399106192

【氏名又は名称】 三井海上火災保険株式会社

【代理人】

【識別番号】 100104156

【弁理士】

【氏名又は名称】 龍華 明裕

【電話番号】 (03)5366-7377

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 053394

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プールの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 保険加入ポータルサイトサーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 インターネット上に設けられた保険加入ポータルサイトサーバであって、

当該保険加入ポータルサイトを経て、他のウェブページ上にアクセスした利用者に対して、前記他のウェブページ上で行われた取引に関する保険を付与することを特徴とする保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 2】 取引される商品を特定する商品識別情報ごとに、複数のウェブページで前記商品が販売されたときの商品別総販売金額、および前記複数のウェブページで販売された前記商品に保険が適用されることにより支払われた総保険適用金額が対応づけられて格納されたクレーム商品 DB を備え、

前記商品別総販売金額に対する前記総保険適用金額の割合に応じて、前記商品に掛ける保険料が設定または変更されることを特徴とする請求項 1 に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 3】 前記ウェブページで取引を行う加盟店を識別する加盟店識別情報ごとに、前記加盟店が取り扱う複数の前記商品の総販売金額、前記加盟店が取り扱う前記商品に保険が適用された回数を定める保険適用回数、および前記加盟店が取り扱う前記商品に保険が適用されることにより支払われた保険金の受領額が対応づけられて格納された加盟店 DB をさらに備え、

前記総販売金額に対する前記保険適用回数、および前記受領額の少なくともいずれかの割合に応じて、前記加盟店が支払う保険料が設定または変更されることを特徴とする請求項 1 に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 4】 前記利用者を識別する利用者識別情報ごとに、前記利用者が前記ウェブページ上での商品購入で支払った利用者別総購入金額、前記利用者が保険を申請した回数を定める利用者別申請回数、および前記利用者に支払われた保険金の総額を定める利用者別保険金受領額とが対応付けられて格納された利用者 DB をさらに備え、

前記利用者別総購入金額に対する、前記利用者別申請回数、および前記利用者

別保険金受領額の少なくともいずれかの割合に応じて、前記利用者が受取れる保険金が設定または変更されることを特徴とする請求項 1 に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 5】 前記加盟店 DB および前記利用者 DB を活用して、前記総販売金額に対する前記保険適用回数、および前記受領額の少なくとも一方、ならびに前記利用者別総購入金額に対する、前記利用者別申請回数、および前記利用者別保険金受領額の少なくとも一方の割合に応じて、前記利用者が受取れる保険金が設定または変更されることを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 6】 前記利用者別総購入金額に対する、前記利用者別申請回数、および前記利用者別保険金受領額の少なくとも一方の割合に応じて、前記商品ごとの前記保険金の限度額を定める保険限度額が設定または変更されることを特徴とする請求項 4 に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 7】 前記利用者別総購入金額に対する、前記利用者別申請回数、および前記利用者別保険金受領額の少なくとも一方の割合に応じて、前記利用者が保険を受けられる商品購入の限度額を定める購入限度額が設定または変更されることを特徴とする請求項 4 に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 8】 インターネット上に設けられた保険加入ポータルサイトサーバであって、

前記保険加入ポータルサイトサーバ上において利用者が他のサーバのウェブページを要求した場合に、前記他のサーバのウェブページを取り込み、前記ウェブページ内に設けられたリンク先を当該保険加入ポータルサイトに書き換えて前記利用者へ送信する書き換え手段と、

前記書き換え手段により書き換えられたウェブページ上において取引が行われた場合に、前記取引に関する保険を付与する保険付与手段とを備えたことを特徴とする保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項 9】 前記保険を付与することのできるウェブページを識別する識別情報を格納する保険付与 DB を更に備え、

前記書き換え手段は、前記利用者から要求されたウェブページの識別情報が前

記保険付与DBに格納されていることを条件として、前記リンク先を書き換えることを特徴とする請求項8に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項10】 前記保険付与手段は、前記取引が行われたウェブページの識別情報が前記保険付与DBに格納されていることを条件として、前記取引に保険を付与することを特徴とする請求項9に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項11】 前記利用者から要求されたウェブページの識別情報が前記保険付与DBに格納されている場合に、当該ウェブページ上で行われる取引に前記保険が付与される旨を前記利用者の端末上に表示させる表示手段を更に備えることを特徴とする請求項9に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【請求項12】 前記保険加入ポータルサイトサーバにおける前記利用者のアクセスの履歴を、前記利用者の識別情報に対応付けて格納する履歴DBをさらに備え、

前記利用者から前記取引に対する保険金の申請があったときに、前記取引が真に行われていたことを、前記履歴DBに格納された前記履歴を用いて判断し、前記取引が真に行われていたことを条件として前記利用者へ前記保険金を支払うことを特徴とする請求項8に記載の保険加入ポータルサイトサーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、保険加入ポータルサイトサーバに関する。特に本発明は、インターネット上での物品購入に関する保険サービスを提供する保険加入ポータルサイトサーバに関する。

【0002】

【従来の技術】

インターネットが発達し、インターネットを利用した商品販売（電子商取引）が広く行われるようになってきた。電子商取引では、ユーザは、まず商品を販売するWebページにアクセスする。次に、ユーザは、商品購入画面において商品購入に必要な事項を順次入力する。商品購入に必要な事項としては、氏名、住所

、商品名、金額、決済手段などがある。商品購入が承認されると、商品が所定の住所に送付されるとともに、電子マネーによる決済が行われる。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

電子商取引においては、購入した品物が届けられなかった場合、所望の品物と違う品物が届けられた場合、届けられた品物が壊れていた場合などの商品受取りに関する事故やトラブルが発生することがある。そのような事故やトラブルに遭ったときのための保険は、特定のクレジットカードを利用することや、特定のサイトで取引することなどの限られた手段でしか利用することができなかった。従って、利用者は、電子商取引に対する保険を簡便に受けることができず、商品が正しく届けられるまでは、電子商取引での商品購入に関して安心することができなかった

【 0 0 0 4 】

そこで本発明は、上記の課題を解決することのできる保険加入ポータルサイトサーバを提供することを目的とする。この目的は特許請求の範囲における独立項に記載の特徴の組み合わせにより達成される。また従属項は本発明の更なる有利な具体例を規定する。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

即ち、本発明の第 1 の形態によると、本発明は、インターネット上に設けられた保険加入ポータルサイトサーバであって、当該保険加入ポータルサイトを経て、他のウェブページ上にアクセスした利用者に対して、他のウェブページ上で行われた取引に関する保険を付与する。

【 0 0 0 6 】

本発明は、取引される商品を特定する商品識別情報ごとに、複数のウェブページで商品が販売されたときの商品別総販売金額、および複数のウェブページで販売された商品に保険が適用されることにより支払われた総保険適用金額が対応づけられて格納されたクレーム商品 DB を備え、商品別総販売金額に対する総保険適用金額の割合に応じて、商品に掛ける保険料が設定または変更されてもよい。



## 【0007】

本発明は、ウェブページで取引を行う加盟店を識別する加盟店識別情報ごとに、加盟店が取り扱う複数の商品の総販売金額、加盟店が取り扱う商品に保険が適用された回数を定める保険適用回数、および加盟店が取り扱う商品に保険が適用されることにより支払われた保険金の受領額が対応づけられて格納された加盟店DBをさらに備え、総販売金額に対する保険適用回数、および受領額の少なくともいずれかの割合に応じて、加盟店が支払う保険料が設定または変更されてもよい。

## 【0008】

本発明は、利用者を識別する利用者識別情報ごとに、利用者がウェブページ上での商品購入で支払った利用者別総購入金額、利用者が保険を申請した回数を定める利用者別申請回数、および利用者に支払われた保険金の総額を定める利用者別保険金受領額とが対応付けられて格納された利用者DBをさらに備え、利用者別総購入金額に対する、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額の少なくともいずれかの割合に応じて、利用者が受取れる保険金が設定または変更されてもよい。

## 【0009】

加盟店DBおよび利用者DBを活用して、総販売金額に対する保険適用回数、および受領額の少なくとも一方、ならびに利用者別総購入金額に対する、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額の少なくとも一方の割合に応じて、利用者が受取れる保険金が設定または変更されてもよい。

## 【0010】

利用者別総購入金額に対する、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額の少なくとも一方の割合に応じて、商品ごとの保険金の限度額を定める保険限度額が設定または変更されてもよい。

## 【0011】

利用者別総購入金額に対する、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額の少なくとも一方の割合に応じて、利用者が保険を受けられる商品購入の限度額を定める購入限度額が設定または変更されてもよい。

## 【 0 0 1 2 】

本発明の第2の形態によると、本発明は、インターネット上に設けられた保険加入ポータルサイトサーバであって、ポータルサイトサーバ上において利用者が他のサーバのウェブページを要求した場合に、他のサーバのウェブページを取り込み、ウェブページ内に設けられたリンク先を当該保険加入ポータルサイトに書き換えて利用者に送信する書き換え手段と、書き換え手段により書き換えられたウェブページ上において取引が行われた場合に、取引に関する保険を付与する保険付与手段とを備える。

## 【 0 0 1 3 】

本発明は、保険を付与することのできるウェブページを識別する識別情報を格納する保険付与DBを更に備え、書き換え手段は、利用者から要求されたウェブページの識別情報が保険付与DBに格納されていることを条件として、リンク先を書き換えてもよい。

## 【 0 0 1 4 】

保険付与手段は、取引が行われたウェブページの識別情報が保険付与DBに格納されていることを条件として、取引に保険を付与してもよい。

## 【 0 0 1 5 】

本発明は、利用者から要求されたウェブページの識別情報が保険付与DBに格納されている場合に、当該ウェブページ上で行われる取引に保険が付与される旨を利用者の端末上に表示させる表示手段を更に備えてもよい。

## 【 0 0 1 6 】

本発明は、保険加入ポータルサイトサーバにおける利用者のアクセスの履歴を、利用者の識別情報に対応付けて格納する履歴DBをさらに備え、利用者から取引に対する保険金の申請があったときに、取引が真に行われていたことを、履歴DBに格納された履歴を用いて判断し、取引が真に行われていたことを条件として利用者へ保険金を支払ってもよい。

## 【 0 0 1 7 】

なお上記の発明の概要は、本発明の必要な特徴の全てを列挙したものではなく、これらの特徴群のサブコンビネーションも又発明となりうる。

## 【 0 0 1 8 】

## 【発明の実施の形態】

以下、発明の実施の形態を通じて本発明を説明するが、以下の実施形態はクレームにかかる発明を限定するものではなく、又実施形態の中で説明されている特徴の組み合わせの全てが発明の解決手段に必須であるとは限らない。

## （第 1 の実施形態）

図 1 は、本発明の第 1 の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ 10 を含むシステムの概略を示す。保険加入ポータルサイトサーバ 10 は、インターネット 80 に接続されている。保険加入ポータルサイトサーバ 10 は、たとえば、保険などに関する情報を発信する保険加入ポータルサイトをインターネット 80 を通じて提供する。保険加入ポータルサイトサーバ 10 は、保険会社によって運営される。本システムに加盟する加盟店が提供する加盟店ウェブページ 30 は、インターネット 80 でアクセス可能な状態に備けられている。利用者が使用する利用者端末 20 がインターネット 80 に接続されている。加盟店ウェブページ 30 では、利用者によって、商品の購入などの取引（電子商取引）が行われる。利用者は、利用者端末 20 から保険加入ポータルサイトサーバ 10 が提供する保険加入ポータルサイト、および加盟店が提供する加盟店ウェブページ 30 にアクセス可能である。

## 【 0 0 1 9 】

利用者は、商品購入にあたって、まず保険加入ポータルサイトサーバ 10 にアクセスする。保険加入ポータルサイトサーバ 10 は、利用者のアクセスを認証する処理をする。認証を受けた利用者は、加盟店ウェブページ 30 にアクセスする。利用者は、商品購入画面において、商品の購入に必要な事項を入力する。加盟店ウェブページ 30 における商品購入に、保険が付与される。これにより、ユーザは、購入した品物が届けられなかった場合、所望の品物と違う品物が届けられた場合、届けられた品物が壊れていた場合などの商品受取りに関する事故やトラブルが発生したときに、保険の適用を受けることができる。

## 【 0 0 2 0 】

加盟店は、本システムに加盟するに当たり、商品に掛けられる基本的な保険料

を支払う。これにより、利用者は自ら保険料を支払わずに保険に加入することができる。ただし、利用者は必要に応じて、保険料を追加することができる。

#### 【 0 0 2 1 】

図 2 は、第 1 の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 の構成を示す。保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 は、CPU 2 1、ROM 2 2、RAM 2 4、通信 I / F 2 6、利用者 DB 1 2、加盟店 DB 1 4、取引 DB 1 6、およびクレーム商品 DB 1 8 を備える。

#### 【 0 0 2 2 】

保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 は、CPU 2 1、ROM 2 2、および RAM 2 4 に格納されたプログラムに従って、利用者 DB 1 2、加盟店 DB 1 4、取引 DB 1 6、およびクレーム商品 DB 1 8 を処理し、その結果を、通信 I / F 2 6 を介して、インターネット 8 0 に送信する。

#### 【 0 0 2 3 】

図 3 は、利用者端末 2 0 の概略を示す。利用者端末 2 0 は、処理部 4 0 を有する。処理部 4 0 は、利用者がマウスやキーボードなどの入力装置から入力した情報をインターネット 8 0 に送信する処理、および、保険加入ポータルサイトサーバ 1 0、並びに加盟店ウェブページ 3 0 から送信された取得情報をモニタ画面に表示する処理、または、取得情報をハードディスクなどの記録媒体への書き込む処理、若しくは、ハードディスクなどに書き込まれた取得情報を読み込む処理などを行う。取得情報には、一時識別情報、有効期限、および加保険金額が含まれる。

#### 【 0 0 2 4 】

図 4 は、利用者 DB 1 2 の例を示す。利用者 DB 1 2 には、利用者を識別する利用者 ID（利用者識別情報）に対応づけられて、パスワード、一時識別情報、有効期限、利用者別総購入金額、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額が格納される。パスワードは、利用者が保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 にアクセスする際の認証に用いられる。一時識別情報は、たとえば利用者端末 2 0 に書き込まれるべき、クッキーである。クッキーには、利用者に関する情報、利用者がアクセスしたウェブページに関する情報、および、そのアクセス日時など

が含まれる。有効期限は、一時識別情報が有効とみなされる期間を規定する。利用者別総購入金額は、利用者が、保険加入ポータルサイトが提供する保険に加入して行った取引の合計金額である。利用者別申請回数は、利用者が、取引に対する保険金の申請を行った回数である。利用者別保険金受領額は、利用者が、受取った保険金の受領額である。

## 【 0 0 2 5 】

図 5 は、加盟店 DB 1 4 の例を示す。加盟店 DB 1 4 には、加盟店を識別する加盟店 ID（加盟店識別情報）に対応づけられて、IP アドレス、総販売金額、保険適用回数、保険金受領額が格納される。IP アドレスは、インターネットに接続されたコンピュータに割り振られた識別番号であり、8 ビットずつ 4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われ、「210.145.108.18」などのように表現される。総販売金額は、加盟店が、保険加入ポータルサイトが提供する保険を付けて行った取引の合計金額である。保険適用回数は、加盟店が、取引に関して保険が適用された回数である。保険金受領額は、取引に対する保険の適用により、利用者に支払われた保険金の合計金額である。

## 【 0 0 2 6 】

図 6 は、取引 DB 1 6 の例を示す。取引 DB 1 6 には、加盟店を識別する加盟店 ID に対応づけられて、一時識別情報、時刻、商品 ID、商品金額、基本保険料、追加保険料が格納される。取引 DB 1 6 には、加盟店ウェブページで取引が成立するごとに更新される。時刻は、加盟店ウェブページ 3 0 で取引が成立した時を示す。商品 ID は、加盟店ウェブページ 3 0 で取引される商品を識別するための情報である。同一の商品に対しては、その商品を扱う加盟店ウェブページ 3 0 が異なっても、共通の商品 ID が使用される。商品金額は、商品ごとの値段を示す。基本保険料は、商品の取引に保険を掛ける際に必要な保険料の基本額である。追加保険料は、基本保険料に追加する保険料の金額である。利用者は、追加保険料を支払うことにより、受取れる保険金を増額することができる。

## 【 0 0 2 7 】

図 7 は、クレーム商品 DB 1 8 の例を示す。クレーム商品 DB 1 8 には、商品を識別する商品 ID に対応づけられて、商品別総販売金額、総保険適用金額が格

納される。商品別総販売金額は、各商品について、保険が掛けられた商品購入の合計金額である。総保険適用金額は、各商品について、複数の加盟店ウェブページ30での商品購入に対して、保険の適用により支払われた保険金の合計金額である。

## 【0028】

図8は、加盟店ウェブページ30の画面50を示す。この例の加盟店ウェブページ30では、コンピュータの販売が行われる。加盟店ウェブページ30は、商品ごとに説明52を有し、利用者に商品に関する情報を提供するとともに、商品ごとに商品購入のための購入ボタン54を有し、利用者による商品購入を可能とする。購入ボタン54がクリックされると、利用者の氏名、住所などの属性情報、購入する商品名、金額などの商品情報、決済手段に関する情報などの入力を利用者に対して要求される。

## 【0029】

以下に、保険加入ポータルサイトサーバ10で実現される、保険料、または保険金などの設定または変更に関する処理について記述する。

## 【0030】

(保険料の設定または変更)

商品に掛ける保険料は、クレーム商品DB18に格納された、商品別総販売金額、および総保険適用金額に応じて設定または変更される。具体的には、商品別総販売金額に対する総保険適用金額の割合が高い程、商品に掛ける保険金は高くなる。商品別総販売金額、および総保険適用金額は、複数の加盟店における商品取引の実績を反映しているので、各商品の取引ごとのリスク、または信用度に応じた保険料の設定が可能になる。

## 【0031】

また、商品に掛ける保険料は、加盟店DB14に格納された、総販売金額、保険適用回数、および保険金受領額に応じて設定または変更される。具体的には、総販売金額に対する、保険適用回数および保険金受領額の少なくともいずれかの割合に応じて、保険料が設定または変更される。より具体的には、総販売金額に対する保険適用回数、または保険金受領額の割合が高い、保険料が高くなる。こ

れにより、加盟店のリスク、または信用度に応じた保険料の設定が可能になる。

#### 【0032】

（保険金額の設定または変更）

利用者に支払われる保険金は、利用者DB12に格納された、利用者別総購入金額、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額に応じて設定または変更される。具体的には、利用者別総購入金額に対する、利用者別申請回数および利用者別保険金受領額の少なくともいずれかの割合に応じて、保険金の設定または変更される。より具体的には、利用者別総購入金額に対する利用者別申請回数、または利用者別保険金受領額の割合が高いほど、支払われる保険金は少なくなる。これにより、利用者のリスク、または信用度に応じた、保険金額の設定が可能になる。

#### 【0033】

また、利用者に支払われる保険金は、加盟店DB14および利用者DB12を活用して、総販売金額に対する保険適用回数、および保険金受領額の少なくとも一方、ならびに利用者別総購入金額に対する、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額の少なくとも一方の割合に応じて、設定または変更されてもよい。たとえば、総販売金額に対する保険金受領額の割合が低い加盟店ウェブページ30で、利用者別総購入金額に対する利用者別保険金受領の割合が低い利用者が商品を購入した場合には、その商品に対する保険金は高くなる。これにより、加盟点および利用者のリスク、または信用度に応じた、保険金額の設定が可能になる。

#### 【0034】

（保険金額の限度額の設定または変更）

利用者が購入した商品ごとに、受取ることができる保険金額の限度額が、利用者DB12に格納された、利用者別総購入金額、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額に応じて設定または変更される。具体的には、利用者別総購入金額に対する利用者別申請回数、または利用者別保険金受領額の割合が低いほど、保険金額の限度額は高くなるように設定または変更される。利用者は、加盟店ウェブページ30での商品購入の実績を増やすとともに、保険適用を受けずに済

ますことで、より高額な保険金額の設定を受けることが可能になる。一方、保険会社は、なんら信用度に関する情報のない利用者に対しては、高額な保険金額を支払わずに済む。

## 【0035】

(保険付き商品購入の限度額の設定または変更)

利用者が、保険が掛けられた商品を購入することができる限度額が、利用者DB12に格納された、利用者別総購入金額、利用者別申請回数、および利用者別保険金受領額に応じて設定または変更される。具体的には、利用者別総購入金額に対する利用者別申請回数、または利用者別保険金受領額の割合が低いほど、購入限度額は高くなるように設定または変更される。利用者は、加盟店ウェブページ30での商品購入の実績を増やすとともに、保険適用を受けずに済ますことで、より高額な購入限度額の設定を受けることが可能になる。一方、保険会社は、なんら信用度に関する情報のない利用者に対しては、高額な商品に保険を付与しなくて済む。

## 【0036】

図9は、第1の実施形態における、保険適用処理のフローチャートである。まず、利用者が保険加入ポータルサイトに入る(S100)。保険加入ポータルサイトサーバ10は、CGIなどの内部ロジックにより、加盟店ウェブページ30へのリンクを利用者に提示する。利用者が、加盟店ウェブページ30にジャンプすると、保険加入ポータルサイトサーバ10は、保険加入ポータルサイトのURLをパラメータとして、リンク先である加盟店ウェブページ30を提供する加盟店サーバに渡す(S110)。利用者は、加盟店ウェブページ30において、商品の購入を行う(S120)。利用者は、購入した商品が所定の期日までに届かなかった場合、届いた商品が壊れていた場合などの事故があったときに、保険金の申請を行う。保険加入ポータルサイトサーバ10は、申請された保険金支払の処理を行う(S130)。

## 【0037】

図10は、利用者が保険加入ポータルサイトサーバ10に入るときの処理(S100)を示すフローチャートである。保険加入ポータルサイトサーバ10は、



利用者端末20から、利用者IDおよびパスワードを受取る（S140）。受取った利用者IDとパスワードとが、利用者DB12に対応づけられて格納されているかどうか判断される（S150）。受取った利用者IDとパスワードとが、利用者DB12に対応づけられて格納されていない場合には、Nに進み、再度利用者IDとパスワードの受取りが再度行われる。受取った利用者IDとパスワードとが、利用者DB12に対応づけられて格納されている場合には、Yに進み、利用者IDに基づいて利用者DB12から利用者の過去の取引実績が読み込まれる（S160）。次に、購入単価当たりの、追加保険料が定めれる（S170）。利用者端末20に一時識別情報、有効期限、および追加保険料が書き込まれる（S180）。最後に、利用者DB12に一時識別情報と有効期限とが書き込まれる（S190）。

## 【0038】

図11は、商品購入および保険申込の処理（S120）を示すフローチャートである。加盟店サーバは、ジャンプ元となるウェブページを示すパラメータを読む（S200）。ジャンプ元のウェブページが、保険加入ポータルサイトであるかが判断される（S210）。ジャンプ元のウェブページが、保険加入ポータルサイトでなければ、ここでの処理を終える。ジャンプ元のウェブページが、保険加入ポータルサイトであれば、利用者端末20から一時識別情報、有効期限、および追加保険料が読み込まれる（S220）。有効期限が過ぎていないかが判断される（S230）。有効期限を過ぎている場合には、ここでの処理を終える。有効期限を過ぎていない場合には、商品の購入を要求し、利用者の選択を受付ける（S240）。利用者が商品購入をすると、追加保険金料が要求される（S250）。利用者が追加保険料の要求に従うと、追加保険料の支払処理が行われる（S260）。加盟店サーバは、保険加入ポータルサイトサーバ10に保険加入の申込を行う（S270）。

## 【0039】

図12は、利用者による保険金申請および保険の適用処理（S130）を示すフローチャートである。保険加入ポータルサイトサーバ10は、利用者から利用者IDとパスワードを受取る（S300）。受取られた利用者IDとパスワード

は、利用者DB12に格納されているか判断される(S310)。利用者IDとパスワードとが、利用者DB12に格納されていないと、再度、利用者から利用者IDとパスワードを受取る。利用者IDとパスワードとが、利用者DB12に格納されていると、利用者は認証される。次に、保険を申請された取引に関する、加盟店IDおよび商品IDが受取られる(S320)。保険を申請された取引が、取引DB16に格納されているかが調べられる(S330)。保険を申請された取引が、取引DB16に格納されていない場合には、ここでの処理を終える。保険を申請された取引が、取引DB16に格納されていると、取引DB16から商品金額が読み込まれる(S340)。保険金の計算が行われ、保険金の支払処理が実行される(S350)。利用者DB12、加盟店DB14、およびクレーム商品DB18が更新される(S360)。

## 【0040】

## (第2の実施形態)

図13は、本発明の第2の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ10を含むシステムの概略を示す。保険加入ポータルサイトサーバ10は、インターネット80に接続されている。保険加入ポータルサイトサーバ10は、たとえば、保険などに関する情報を発信する保険加入ポータルサイトをインターネット80を通じて提供する。保険加入ポータルサイトサーバ10は、保険会社によって運営される。本システムに加盟する加盟店が提供する加盟店ウェブページ30は、インターネット80でアクセス可能な状態に備けられている。利用者が使用する利用者端末20がインターネット80に接続されている。

## 【0041】

利用者は、商品購入にあたって、まず保険加入ポータルサイトサーバ10にアクセスする。利用者は、保険加入ポータルサイトが提供する画面上に表示されたボタンをクリックすることにより、他のサーバのウェブページを要求できる。利用者は、要求されたウェブページにジャンプすることなく、保険加入ポータルサイトサーバ10内に留まった状態で、要求されたウェブページを閲覧したり、ウェブページでの取引を行うことができる。

## 【0042】

図14は、第2の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ10の構成を示す。保険加入ポータルサイトサーバ10は、CPU21、ROM22、RAM24、通信I/F26、保険付与DB90、履歴DB92を備える。

#### 【0043】

保険加入ポータルサイトサーバ10は、CPU21、ROM22、およびRAM24に格納されたプログラムに従って、保険付与DB90、および履歴DB92を処理し、その結果を、通信I/F26を介して、インターネット80に送信する。

#### 【0044】

保険加入ポータルサイトには、加盟店ウェブページを示すボタンが設けられている。ボタンには、加盟店ウェブページに関するリンク情報が関連付けられている。リンク情報は、保険加入ポータルサイトのURLを示す情報、保険加入ポータルサイトサーバ10に格納されたCGIプログラムを示す情報、およびCGIプログラムのパラメータとなる、加盟店ウェブページを示す情報を含む。リンク情報は、たとえば、(ahref=http://www.ecanshin.com/dairi.cgi?http://www.yahoo.co.jp)のように表わされる。ここで、「www.ecanshin.com」は、保険加入ポータルサイトのURLを示す情報である。「dairi.cgi?」は、保険加入ポータルサイトサーバ10で実現されるCGIプログラムを示す情報である。「www.yahoo.co.jp」は、加盟店ウェブページを示す情報である。

#### 【0045】

保険加入ポータルサイトサーバ10は、利用者がボタンをクリックすると、ボタンに関連付けられた加盟店ウェブページを受信する。受信されたウェブページについて、後述する書き換えが行われた後、利用者端末20に送信される。

#### 【0046】

図15は、加盟店ウェブページのリンク情報を書き換えるときの例を示す。保険加入ポータルサイトサーバ10は、受信したウェブページ内のリンク情報を、保険加入ポータルサイトに設けられたCGIプログラムのパラメータとして順次書き換える。これにより、利用者は、保険加入ポータルサイトサーバ10に留まった状態で、加盟店ウェブページが提供する画面やプログラムを利用し、取引を

することができる。

【 0 0 4 7 】

図 1 6 は、保険付与 DB 9 0 の例を示す。保険付与 DB 9 0 には、ウェブページを識別するウェブ ID に対応づけられて、保険を付与することのできるウェブページの URL（識別情報）が格納される。

【 0 0 4 8 】

図 1 7 は、履歴 DB 9 2 の例を示す。履歴 DB 9 2 には、利用者を識別する利用者 ID（識別情報）に対応づけられて、利用者がアクセスした日時、アクセスしたウェブページのウェブ ID、購入した商品、および商品の金額などの履歴が格納される。

【 0 0 4 9 】

保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 は、利用者から要求されたウェブページが、保険付与することができるか否かを、保険付与 DB 9 0 を用いて照合する。要求されたウェブページが、保険付与 DB 9 0 に格納されていることを条件として、ウェブページ上での取引に保険が付与される。このとき、保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 は、利用者端末 2 0 の画面上に、要求されたウェブページでの取引に、保険が付与される旨を表示させる。これにより、利用者は、取引に保険が付与されることを知ることができる。

【 0 0 5 0 】

保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 は、利用者から保険金の申請があった場合に、取引が真に行われていたことを、履歴 DB 9 2 に格納された履歴を用いて判断する。保険金の申請があった取引が、履歴 DB 9 2 に履歴として格納されていることを条件として、利用者へ保険金が支払われる。

【 0 0 5 1 】

図 1 8 は、第 2 の実施形態における、保険適用処理のフローチャートである。利用者は、保険加入ポータルサイトにアクセスする（S 4 0 0）。利用者は、保険加入ポータルサイトに設けられたボタンをクリックすることにより、ウェブページを要求し、保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 は、要求されたウェブページを書き換えて利用者端末 2 0 に提示する処理を行う（S 4 1 0）。利用者は、提

示されたウェブページで商品の購入を行う（S420）。商品購入に対して、保険が付与される（S430）。利用者からの保険申請を受付け、保険金の支払処理を行う（S440）。

## 【0052】

図19は、ウェブページの要求およびウェブページの書き換えに関する処理（S410）を示すフローチャートである。保険加入ポータルサイトサーバ10は、利用者からのウェブページの要求を受付ける（S500）。ウェブページの要求は、保険加入ポータルサイトに設けられた、ウェブページを示すボタンをクリックすることで行われる。このボタンには上述したCGIプログラムが関連づけられている。保険加入ポータルサイトサーバ10は、要求されたウェブページを取り込む（S510）。取り込まれたウェブページのリンク情報は、CGIプログラムのパラメータとして順次書き換えられる（S520）。リンク情報が書き換えられたウェブページは、利用者端末20に送られる（S530）。

## 【0053】

図20は、保険付与に関する処理（S420）を示すフローチャートである。利用者が商品購入を行ったウェブページが、保険付与がされるウェブページであるかが、保険付与DB90を用いて調べられる（S600）。商品購入を行ったウェブページが、保険付与がされるウェブページでなければ、ここでの処理を終える。商品購入を行ったウェブページが、保険付与がされるウェブページであれば、商品購入に対して保険が付与される（S610）。

## 【0054】

図21は、保険申請および保険金の支払に関する処理（S430）を示すフローチャートである。保険加入ポータルサイトサーバ10は、利用者から、取引についての保険申請を受付ける（S700）。保険申請された取引が、履歴DB92に格納されているかが、判断される（S710）。保険申請された取引が、履歴DB92に格納されていなければ、ここでの処理を終える。保険申請された取引が、履歴DB92に格納されていると、申請された保険金の支払が処理される（S720）。

## 【0055】

以上、本発明を実施の形態を用いて説明したが、本発明の技術的範囲は上記実施の形態に記載の範囲には限定されない。上記実施の形態に、多様な変更又は改良を加えることができる。その様な変更又は改良を加えた形態も本発明の技術的範囲に含まれ得ることが、特許請求の範囲の記載から明らかである。

【 0 0 5 6 】

【発明の効果】

上記説明から明らかなように、本発明によれば、電子商取引に保険を簡便に付与することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 第 1 の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 を含むシステムの概略を示す図である。

【図 2】 第 1 の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 の構成を示す図である。

【図 3】 利用者端末 2 0 の概略を示す図である。

【図 4】 利用者 DB 1 2 の例を示す図である。

【図 5】 加盟店 DB 1 4 の例を示す図である。

【図 6】 取引 DB 1 6 の例を示す図である。

【図 7】 クレーム商品 DB 1 8 の例を示す図である。

【図 8】 加盟店ウェブページ 3 0 の画面 5 0 を示す図である。

【図 9】 第 1 の実施形態における、保険適用処理のフローチャートである。

【図 1 0】 利用者が保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 に入るときの処理 (S 1 1 0) を示すフローチャートである。

【図 1 1】 商品購入および保険申込の処理 (S 1 2 0) を示すフローチャートである。

【図 1 2】 利用者による保険金申請および保険の適用処理 (S 1 3 0) を示すフローチャートである。

【図 1 3】 本発明の第 2 の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 を含むシステムの概略を示す図である。

【図 1 4】 第 2 の実施形態の保険加入ポータルサイトサーバ 1 0 の構成を示す図である。

【図 1 5】 加盟店ウェブページのリンク情報を書き換えるときの例を示す図である。

【図 1 6】 保険付与 DB 9 0 の例を示す図である。

【図 1 7】 履歴 DB 9 2 の例を示す図である。

【図 1 8】 第 2 の実施形態における、保険適用処理のフローチャートである。

【図 1 9】 ウェブページの要求およびウェブページを書き換えに関する処理 (S 4 1 0) を示すフローチャートである。

【図 2 0】 保険付与に関する処理 (S 4 2 0) を示すフローチャートである。

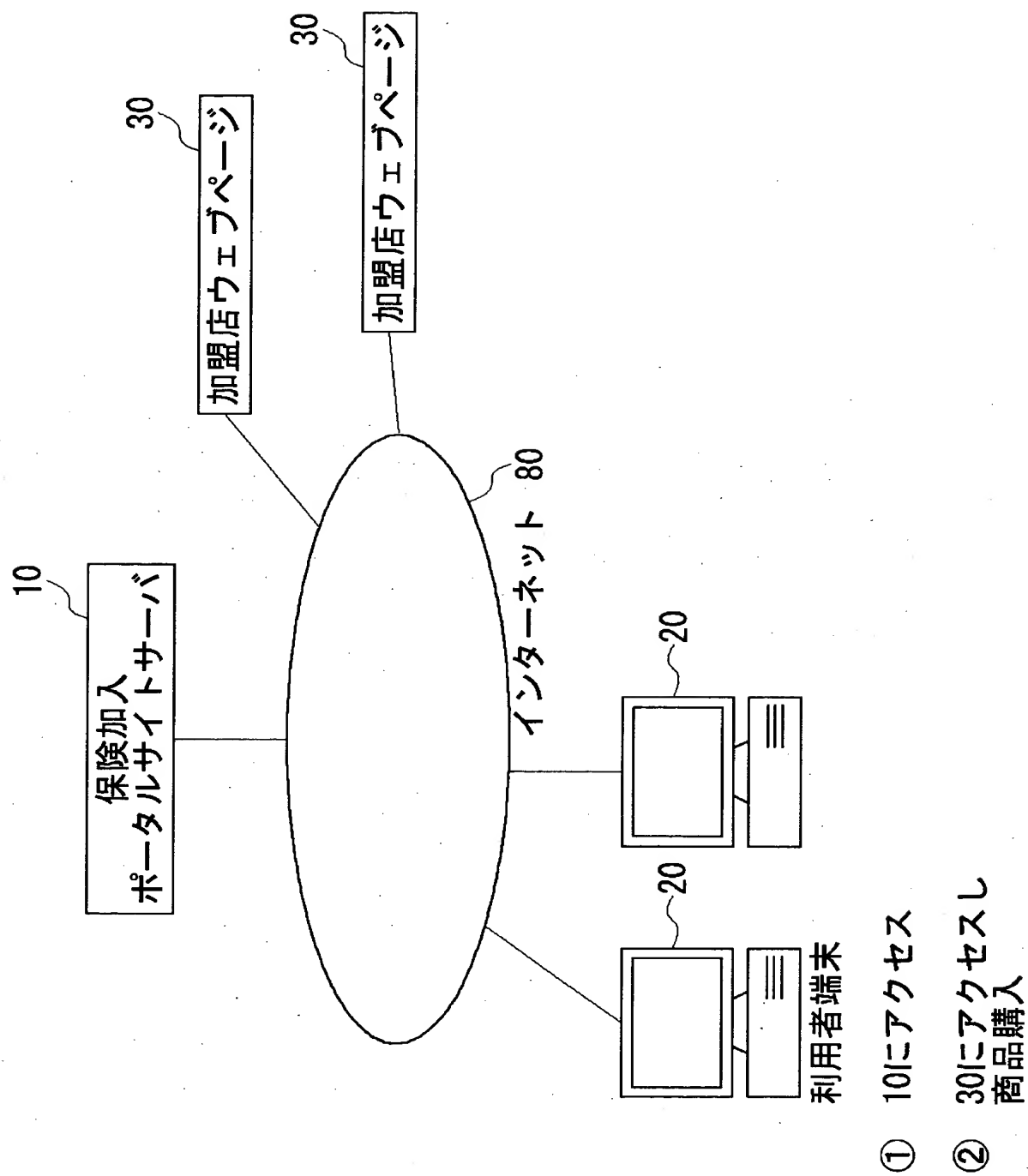
【図 2 1】 保険申請および保険金の支払に関する処理 (S 4 3 0) を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 0 保険加入ポータルサイトサーバ
- 1 2 利用者 DB
- 1 4 加盟店 DB
- 1 6 取引 DB
- 1 8 クレーム商品 DB
- 2 0 利用者端末
- 3 0 加盟店ウェブページ
- 8 0 インターネット

【書類名】 図面

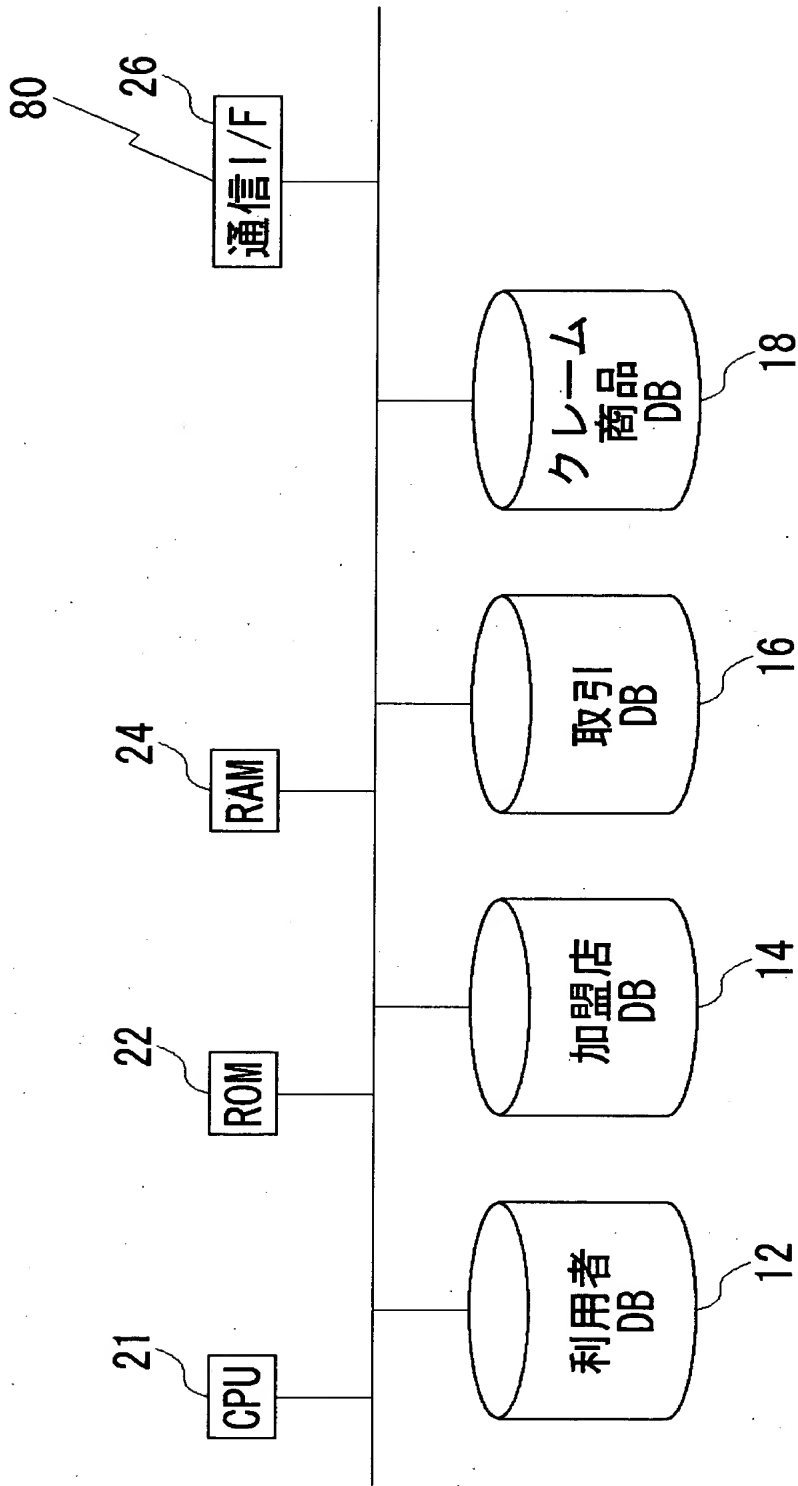
【図 1】



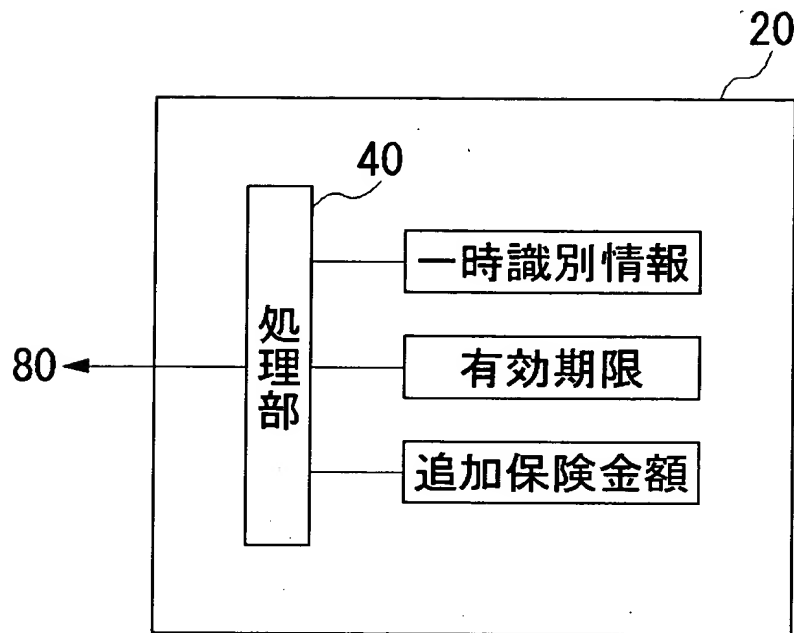


# 10 保険加入ポータルサーバ

【図2】



【図 3】



【図 4】

## 12 利用者DB

利用者 ID	パスワード	一時 識別情報	有効期限	利用者別 総購入金額	利用者別 申請回数	利用者別 保険金受領額
1	gxhi	cookie.txt	2000/8/31	¥40,000	1	¥3,000
⋮						

【図 5】

14 加盟店DB

加盟店ID	IPアドレス	総販売金額	保険適用回数	保険金受領額
7	210.145.108.18	¥53,000,000	10	¥20,000
⋮				

【図 6】

16 取引DB

加盟店ID	一時識別情報	時刻	商品ID	商品金額	基本保険料	追加保険料
7	cookie.txt	18:00	1	¥3000	¥100	¥50

【図 7】

## 18 クレーム商品DB

商品ID	商品別総販売金額	総保険適用金額
A001	7,000,000	50,000
A002	8,000,000	10,000

【图 8】

50

コンピュータショップ

ノート型

54

Aタイプの購入

Bタイプの購入

デスクトップ型

Cタイプの購入

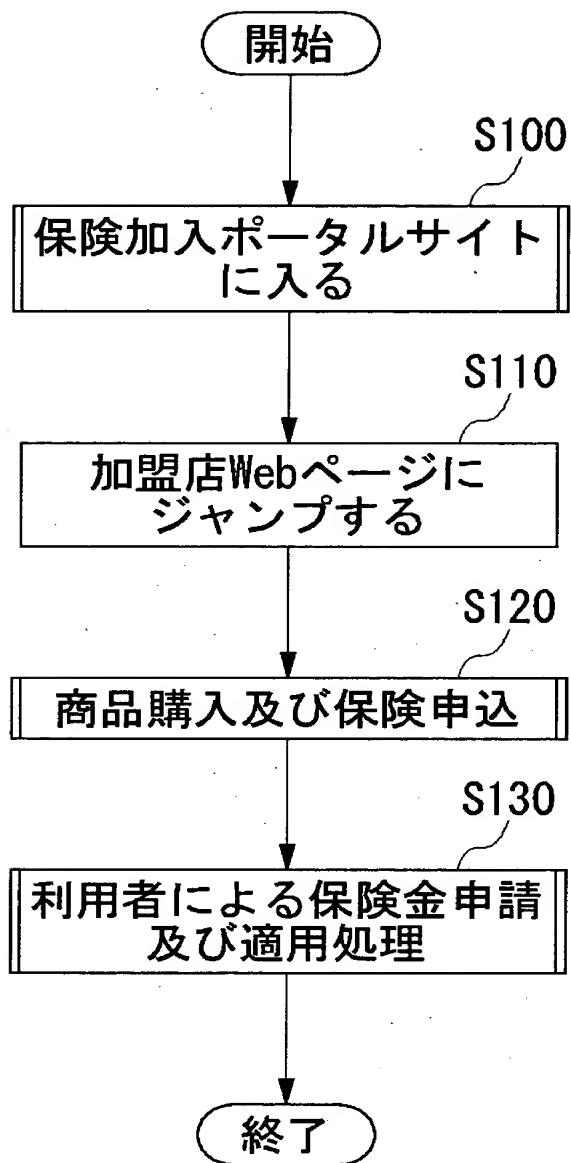
Dタイプの購入

説明

52

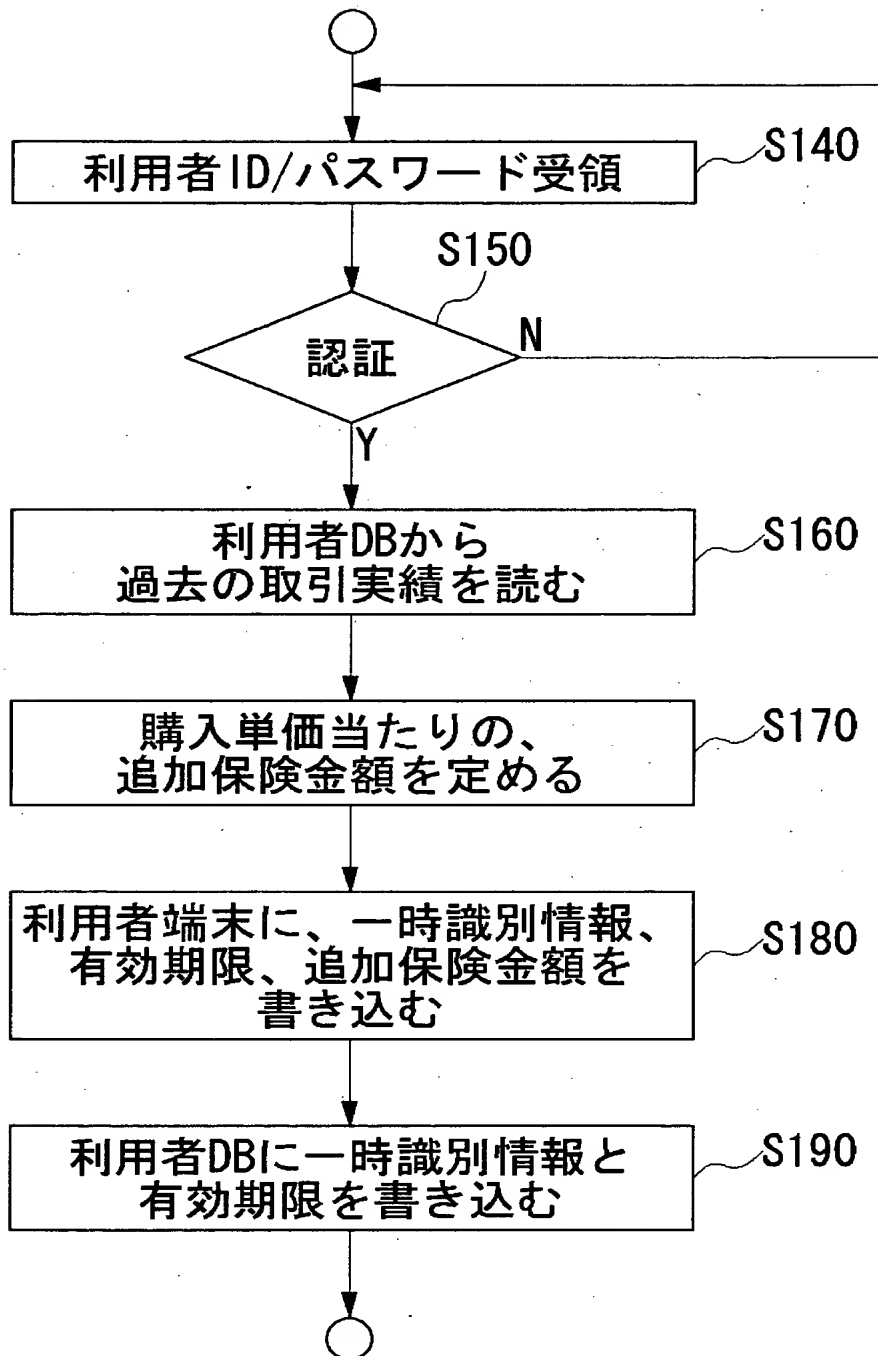
当ショップは、保険加入ポータルサイトの加盟店です

【図 9】



【図 1 0】

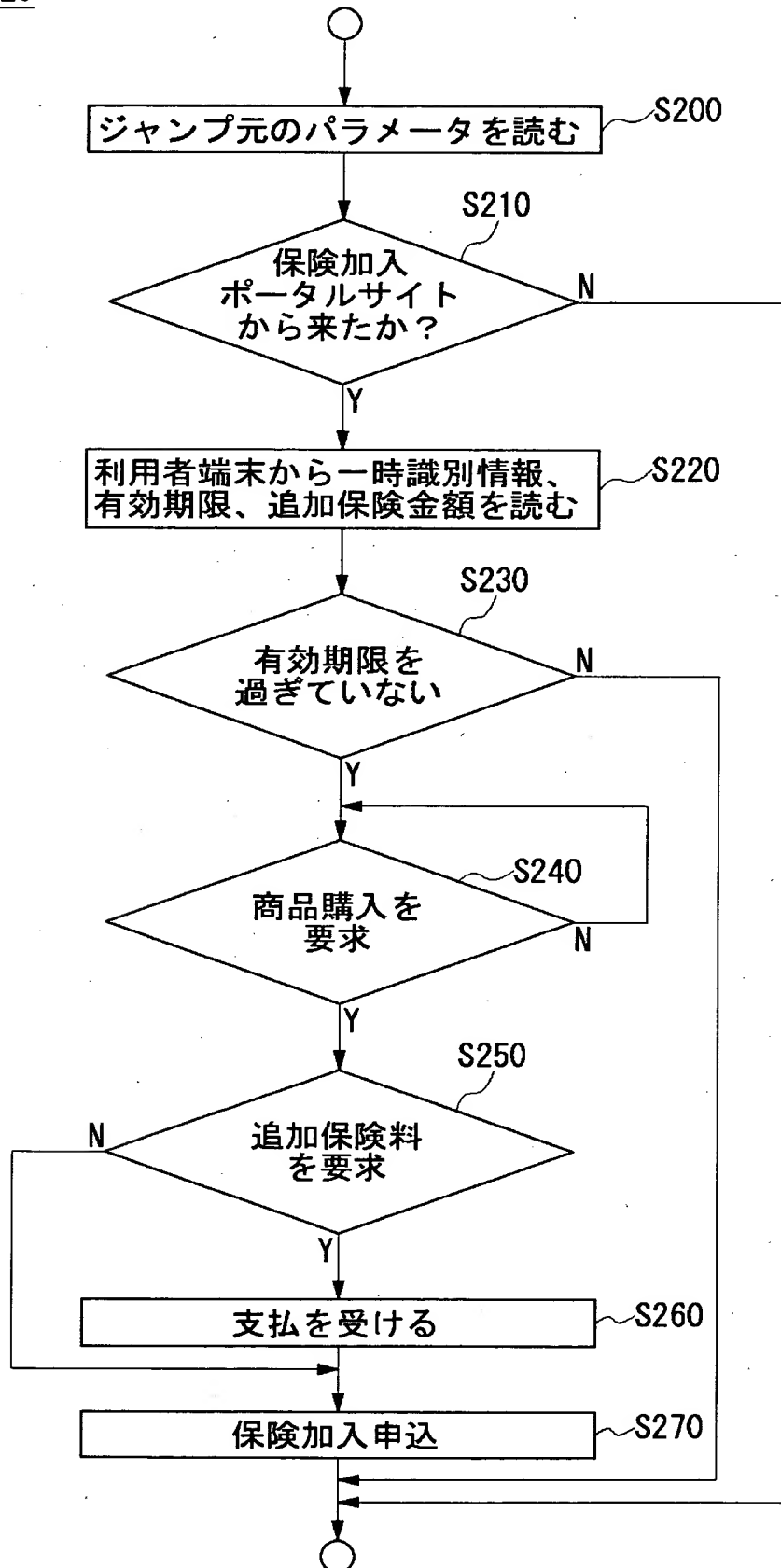
100





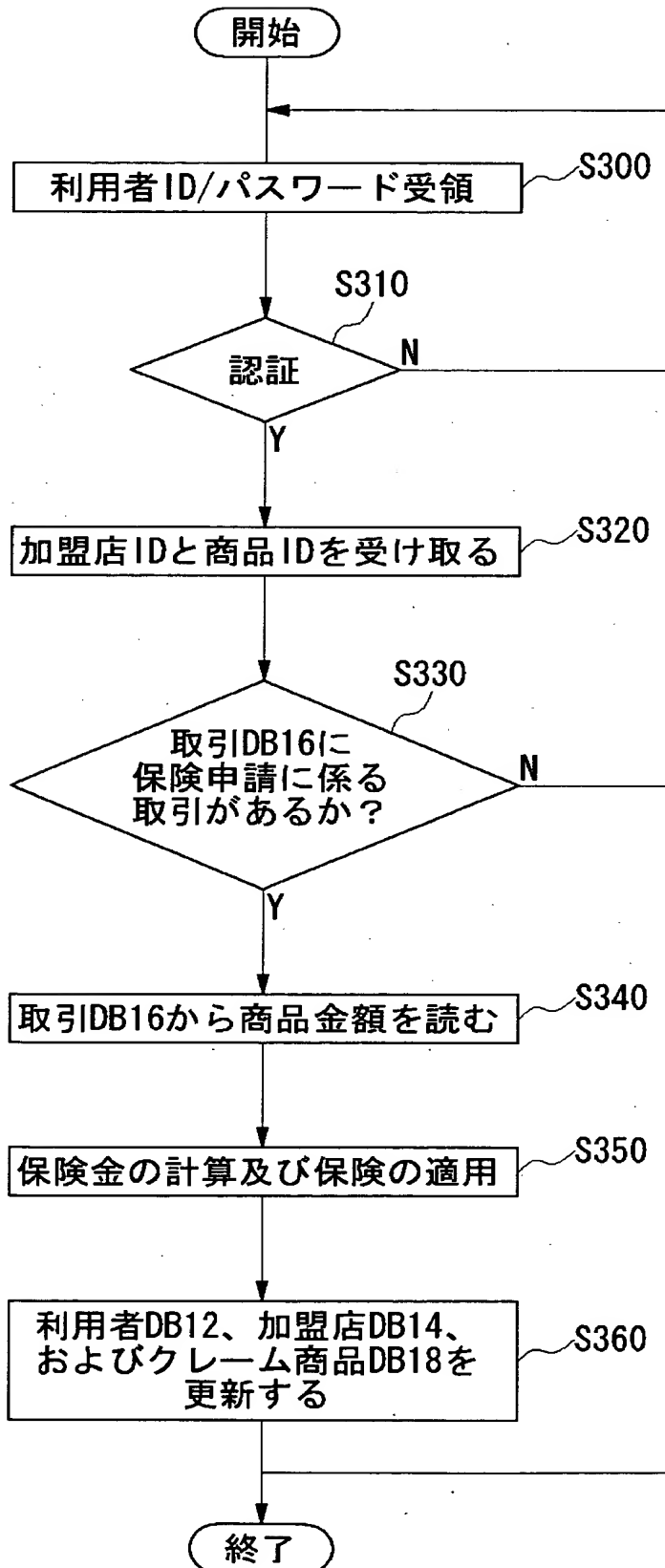
【図 1 1】

S120

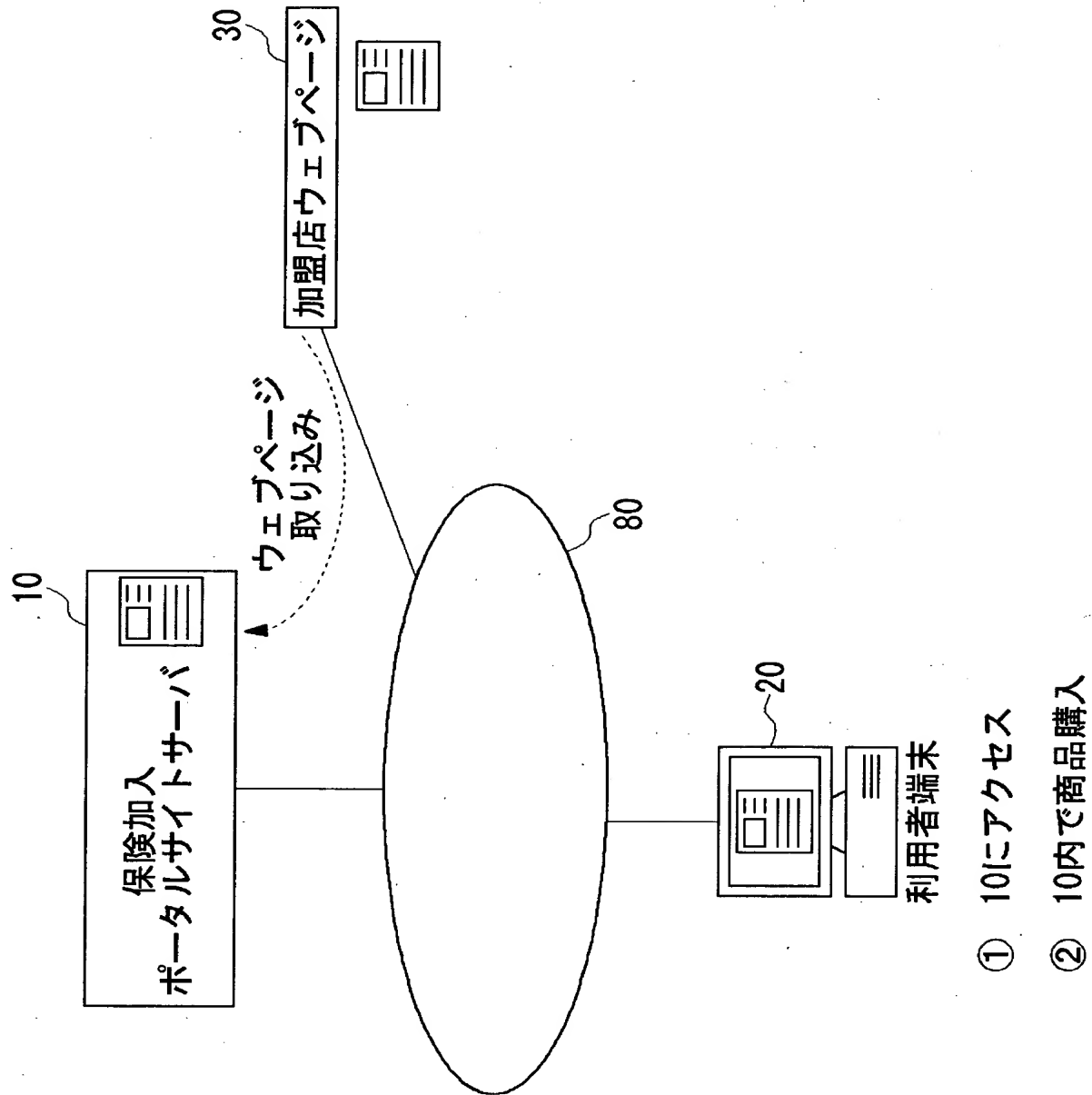


【図 1 2】

S130

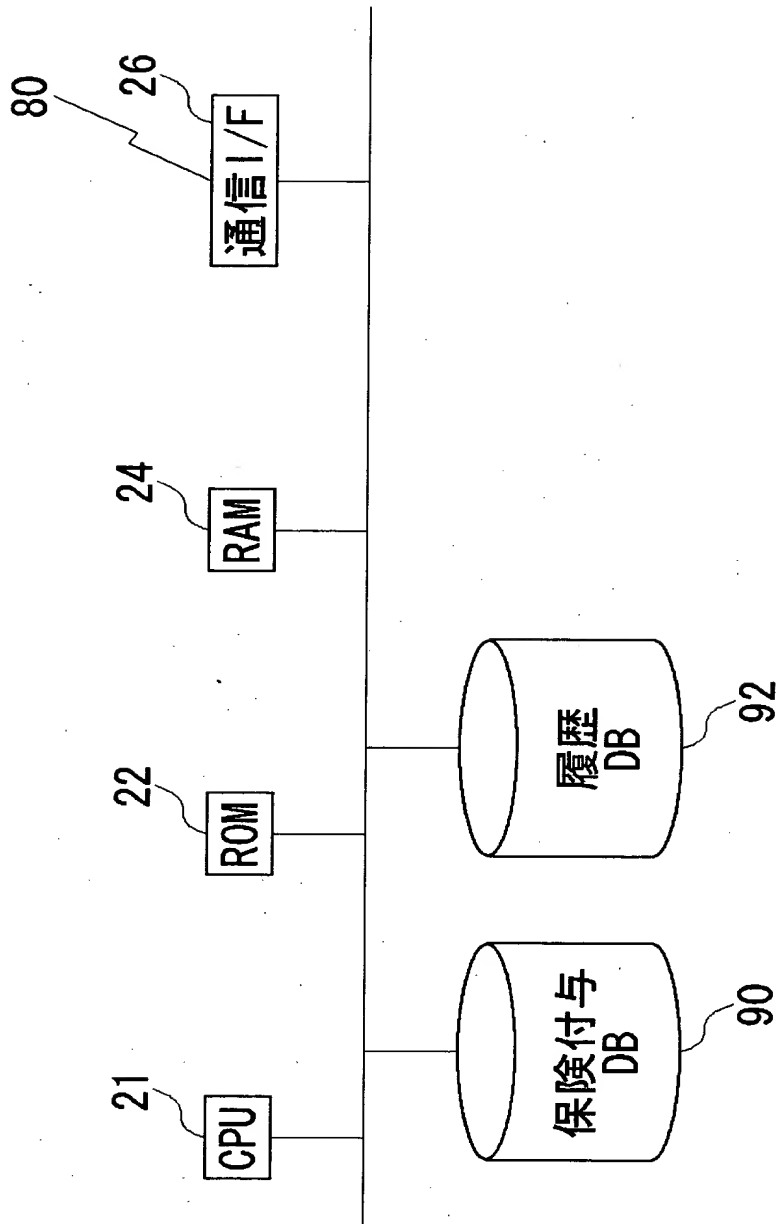


【図 13】



【図14】

# 10 保険加入ポータルサイトサーバ



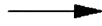
【図 15】

# 加盟店ウェブページのリンクの書き換えの例

加盟店ウェブページ内のリンク：

<a href="http://edu.yahoo.co.jp/">

リンクの  
ウェブページ



保険加入ポータルサイトサーバ10  
によって書き換えられたリンク：

<a href="http://www.ecanshin.com/dairi.cgi?http://edu.yahoo.co.jp/">

保険加入  
ポータルサイトの  
URL

CGI  
プログラム

リンクのURL

【図 1 6】

保険付与DB90

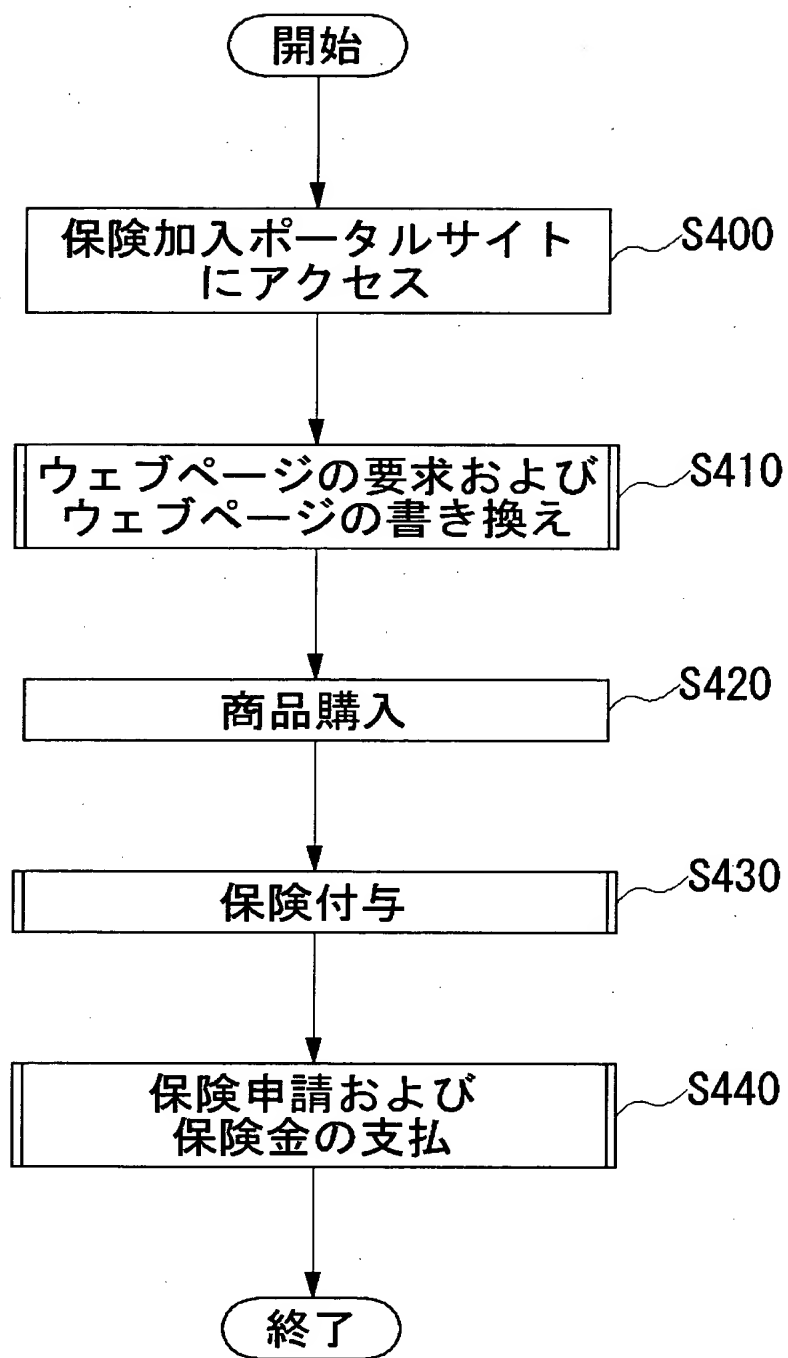
ウェブID	URL
1	http://www.abc.com
⋮	⋮

【図 1 7】

履歴DB92

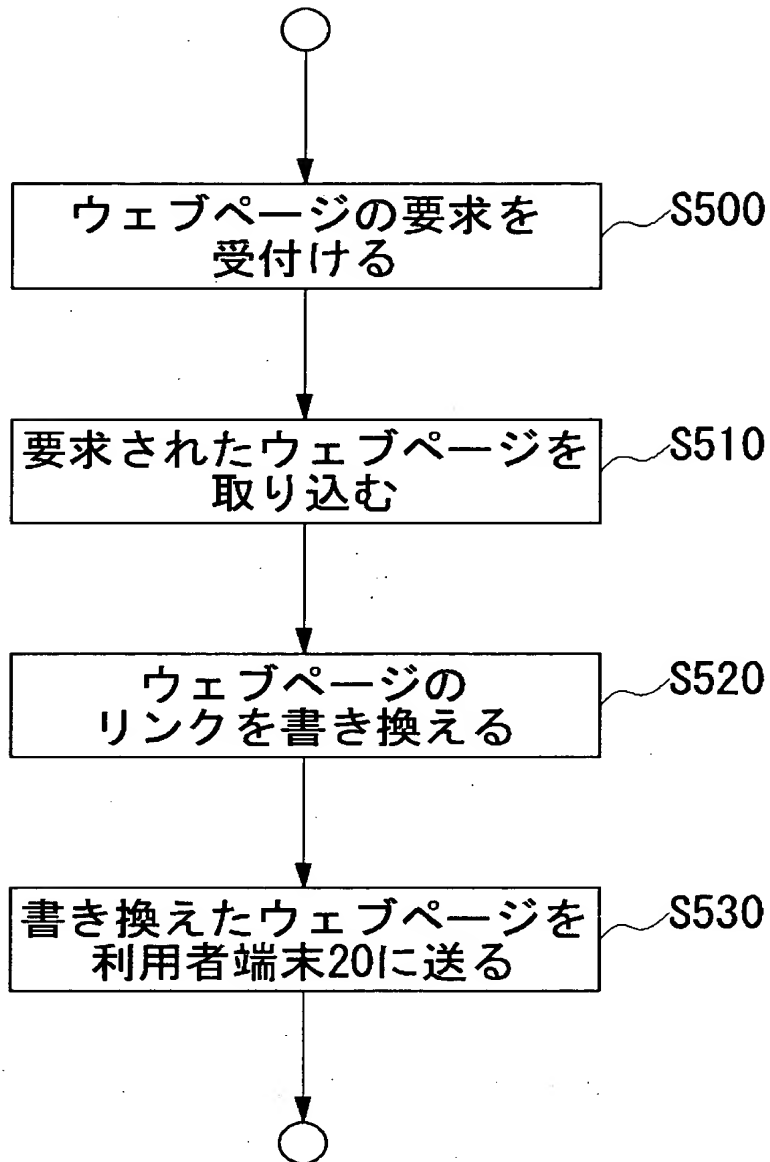
利用者ID	アクセス日時	ウェブID	商品	金額
1	2000/1/1 10:00~12:00	2	○×	¥10000
⋮				

【図18】



【図 1 9】

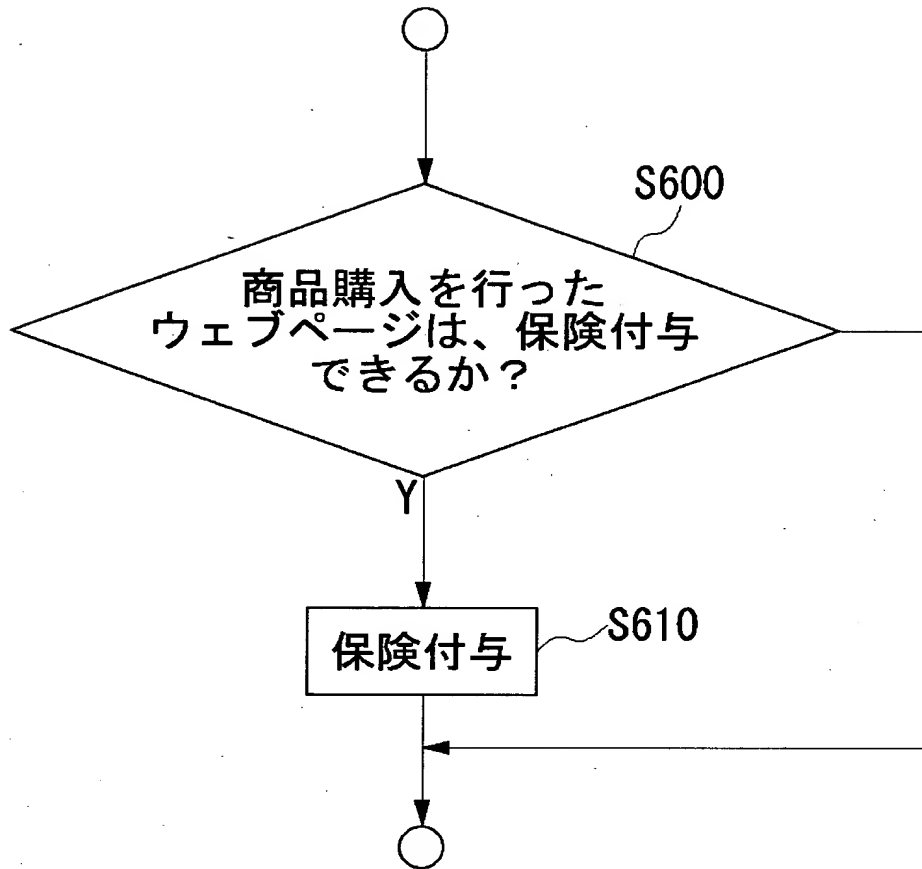
S410





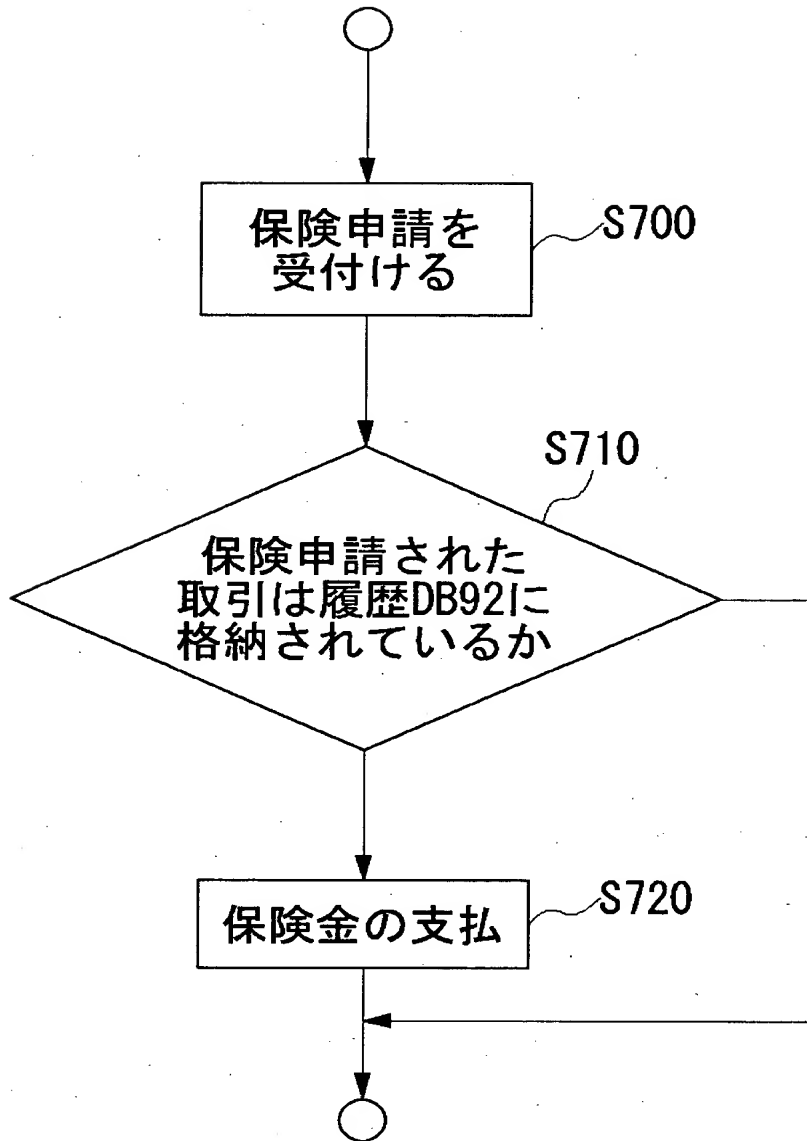
【図 2 0】

S420



【図 2 1】

S430



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電子商取引においては、購入した品物が届けられなかった場合、所望の品物と違う品物が届けられた場合、届けられた品物が壊れていた場合などの商品受取りに関する事故やトラブルが発生することがある。従って、利用者は、商品が正しく届けられるまでは、電子商取引での商品購入に関して安心してすることができなかった。そのような事故やトラブルに遭ったときのための保険は、特定のクレジットカードを利用した場合などの限られた手段でしか利用することができなかった。

【解決手段】 インターネット 8 0 上に設けられた保険加入ポータルサイトサーバであって、当該保険加入ポータルサイトを経て、他のウェブページ上にアクセスした利用者に対して、他のウェブページ上で行われた取引に関する保険を付与する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [399106192]

1. 変更年月日 1999年 9月22日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台3丁目9番地

氏 名 三井海上火災保険株式会社